

# 妊娠中のRSウイルスワクチンのお知らせ



## RSウイルスとワクチンについて

RSウイルスは乳児の細気管支炎や肺炎の原因となるウイルスで、生後早期にかかると重症化することがあります。妊娠中にワクチンを接種することで、母体で作られた抗体が胎盤を通して赤ちゃんに移行し、生後早期のRSウイルス感染症の重症化を予防する効果が期待されます。

2026年4月1日より**妊婦RSウイルスワクチンが定期接種**となりました。自治体から接種費用が助成されます。



## 接種対象

### 妊娠28週0日～36週6日の妊婦さん

※ 当院では通常妊娠30～32週頃に接種を行っています。

※ 当院では、当院で妊婦健診を受けている妊婦さんを対象に接種を行っています。**他院かかりつけの方には対応しておりません**ので、ご了承ください。



## 接種方法 …… お住まいの自治体によって異なります

① 以下の13市のクーポン(予診票)をお持ちの方は、当院で妊婦健診とあわせて接種できます。

小平市	小金井市	東村山市	東久留米市	清瀬市	東大和市	西東京市
国分寺市	国立市	立川市	武蔵村山市	昭島市	狛江市	

② それ以外の自治体のクーポンは、**当院では使用できません**。以下のいずれかの方法で接種してください。

### 【方法1】当院ワクチン外来で接種

- ワクチン外来(火曜と木曜の午後)を予約 ※妊婦健診とは別日となります
- 実費(29,800円 税込)で接種
- ご自身で自治体に償還払い(払い戻し)を申請してください

### 【方法2】お住まいの自治体で接種

- 自治体の指定医療機関で接種
- 接種可能な医療機関は自治体にお問い合わせください



## よくある質問

**Q** 接種期限は36週6日までとのことですが、ギリギリの時期に接種してもよいですか？

**A** 体調や妊娠経過により、予定していた日に接種できない場合があります。また、接種後すぐに十分な抗体が赤ちゃんに移行するわけではありません。そのため、当院では余裕を持って30～32週頃の接種をご案内しています。

**Q** 里帰りのため、妊娠後期まで公立昭和病院を受診しません。ワクチンは、どこで打てばよいですか？

**A** 里帰りのタイミングにもよりますが、接種期限を過ぎないように、可能であれば里帰り前に接種することをお勧めします。特に当院で使用できないクーポンをお持ちの方は、接種機会が限られる可能性がありますので、ご注意ください。ワクチンを接種せずに里帰りなされた場合は、妊婦健診時にお早めにご相談ください。

**Q** 他のワクチンと同時期に接種できますか？

**A** RSウイルスワクチンは生ワクチンではないため、原則として他のワクチンとの接種間隔をあける必要はありません。ただし、ワクチンの種類や健康状態などにより判断が異なる場合がありますので、接種を予定している医療機関にご確認ください。  
なお、当院ではRSウイルス以外の妊娠中ワクチン(インフルエンザや百日咳など)は取り扱っておりません。



## 参考資料

- 厚生労働省  
「RSワクチン(妊婦向け定期接種)」  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/rs/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/rs/index.html)
- 日本産科婦人科学会  
「妊婦の皆さんへRSウイルス母子免疫ワクチン(アブリスポ)について」  
[https://www.jsog.or.jp/news\\_c/10707/](https://www.jsog.or.jp/news_c/10707/)
- お住まいの自治体のホームページ等もご確認ください。